

情 報 公 開 文 書

| | |
|-------------------------------------|---|
| 研究の名称 | 新生児、乳児期開心術の精神運動発達および脳の形態学的発達への影響 ～乳幼児発達検査（Bayley Scale, WISC）と MRI による検討～ その3 健常児の MRI 検査研究 |
| 研究機関の名称 | 富山大学附属病院 |
| 研究責任者 （所属・氏名） | 富山大学 糸魚川・地域医療支援学講座 客員教授 廣野 恵一 |
| 研究の概要 | <p>【研究対象者】新生時期から 18 歳までの健常児</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>本研究は、心疾患児の脳発達を理解するため、既に取得された健常児の MRI 画像データを用いて脳構造の基準値を明らかにし、比較解析を行うことを目的とする。健常児の脳発達の基礎的データを整備することで、今後の心疾患児の発達支援方針の検討に役立てることができる。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>過去に富山大学附属病院において撮像された匿名化済みの健常児MRI画像データを使用する。新たな検査や受診、採血、介入などは一切行わない。取得済みのデータから、年齢・性別・脳体積などの統計解析を行い、心疾患児群との比較に用いる。</p> <p>【研究期間】実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日</p> <p>【利益相反の状況】なし</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>本研究の結果は、国内外の学会発表や学術雑誌で公表される可能性があります。個人が特定される形で公表されることは全くない。</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 （他機関への提供の有無） | ・MRI画像データ（T1/T2強調像） これらの情報はすべて診療の過程で得られた既存データを用い、匿名化したうえで研究目的に使用する。他機関への提供は行わない。 |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名 | 富山大学附属病院 病院長 山本 善裕 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名） | 富山大学附属病院糸魚川・地域医療支援学講座 研究責任者 廣野 恵一 |
| 研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-2315 E-mail : khirono@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学 糸魚川・地域医療支援学講座 客員教授 廣野恵一 |